

議 会 だ よ り

まるもり

Miyagi Prefecture
Marumori Town Assembly
News

第 259 号



2022. MAY
令和 4 年 5 月 1 日

発行 宮城県丸森町議会
編集 議会広報常任委員会



期待と不安の中、希望を胸に先生の話聞く新入生（館矢間小学校）（表紙のことは…… 22ページ）

3 月 議 会

- 人口減少 子育て支援に期待 2ページ
- 安心安全を土台に明日へ 4ページ
- 将来のまちづくりに今を全力で取り組もう 9ページ
- 一般質問** 8名の議員が町政を問う 12ページ



まあるい森の里からごんにちわ

子育て支援に期待

3月議会のあらまし

3月議会定例会は、3月2日から16日まで11日間の日程で開催しました。

一般質問には8人の議員が行い、自らの考えを交え町長の考えをただすなど、活発な議論を行いました。

主な議決内容

◆令和4年度各種会計予算の認定

◆条例制定

(妊娠・出産祝金支給条例、国民健康保険条例の一部を改正する条例、ほか4件)

◆工事請負変更契約の締結

(雨水排水ポンプ場災害復旧工事、ほか1件)

◆補正予算

◆専決処分した事件の承認

(丸森小学校校舎大規模改修工事)

審議の結果、町長提案の議案を、すべて原案どおり可決しました。

また、議員発議により

「放射能汚染除染廃棄物仮置場等に関する調査特別委員会」を設置しました。

最終日には、議員発議により新年度各種会計予算に関する要望を提案したほか、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を強く非難する決議を採択しました。耕野地区に計画されている太陽光発電事業について同地区とのコンセンサスを求める決議は不採択となりました。

令和4年度の各種会計予算は

一般会計予算

一般会計予算の総額は、115億6000万円、昨年度と比較して65億5200万円、36.2%の減となり、前年度を下回る予算となりました。

特別会計予算

国民健康保険特別会計など7つの特別会計予算総額 61億2290万円

企業会計予算

病院事業会計 15億1829万円
水道事業会計 5億7767万円

※予算額は収益的支出及び資本的支出の合計額(8ページに詳細があります。)

子育て世代包括支援センター運営事業に 2216万円

妊娠期から子育て期まで、助産師等の専門職による切れ目のないサポートを行う、「子育て世代包括支援センター」運営のための予算です。



妊娠から子育てまでのサポートは心強いね

センターは昨年10月にプレオープンし、4月から子育て定住推進課内に開設しました。

中学校サブグラウンド整備事業に 5000万円

部活動の場として活用できるよう、中学校グラウンドに隣接する旧町営鳥屋住宅跡地を整備するための予算です。



中学校サブグラウンドが整備される鳥屋住宅跡地

水防センター設計業務委託料に 1830万円

河川防災ステーション内に整備する、水防センターの設計業務を委託するための予算です。

水防センターは、災害時の防災機能のほか、平常時にも活用できる施設として整備されます。



防災活動の拠点となる水防センター (イメージ)

農林業施設・土木施設災害復旧工事に 20億5200万円

令和3年度に引き続き、東日本台風により被害を受けた農地、農林業施設、公共土木施設の災害復旧工事を行うための予算です。

ほかに、令和3年度から4年度へ繰越された災害復旧の予算は災害公営・町営住宅建替事業費を含め、107億4373万円です。



立派に復旧した沢尻棚田 (大張地区)

集落支援員業務に 3200万円

各地区の住民自治組織に、新たに集落支援員を配置するための予算です。

集落支援員は地域の実情に詳しい人材で、地域に入り住民と住民、住民と町の話し合いの促進や状況把握等を実施することにより、地域の問題解決につなげていきます。

妊娠・出産祝金に 455万円

妊娠期、出産期の子育て家庭へ祝金を支給するための予算です。

令和4年度からの新規事業で、詳細は10ページの妊娠・出産祝金支給条例で記載しています。

安心安全を土台に明日へ

予算認定に関連した総括質疑の中から取り上げました



新しくなった防災マップ

防災マップの活用は
 問 新しくなった防災マップの活用をどう進めるのか。
 答 区長会で説明し全戸へ配付を行った。マイタイムラインの欄を設けたことから、地域の実情にあった世帯ごとの防災行動がとれるよう、地域に出向き防災講話を通じて利活用を進める。

新たな子育て支援事業は
 問 子育て支援事業としてどのような取り組みを進めるのか。
 答 新たに妊娠・出産祝金事業をはじめ、国保税の子どもの均等割額全額減免、産婦人科・小児科オンライン診療相談の実施、18歳未満の子どもへ丸森産ブランド米1人2kgを提供する等、支援に取り組む。

道路の維持管理は
 問 災害復旧工事に伴う大型車両の交通量増加により、町道等の損傷が進行している。道路の維持管理にどう取り組むのか。
 答 道路状況の確認と補修を続けながら、関係機関と連携し、破損箇所を早期修繕に努める。

5割増商品券の内容は
 問 割増商品券発行についての事業内容は。
 答 商業地域活性化割増商品券発行事業は、1セット7500円分の商品券を5000円で販売したい。また、販売数を、前回実施時の1・5倍の1万5000セットに増やし、販売方法を工夫したい。



災害復旧車両によって破損した道路（筆甫地区）

山菜の出荷制限解除は
 問 原発事故の影響により山菜等の出荷制限が続いているが、4年度の見通しは。
 答 4年度のタケノコは町内全域で解除の見通しである。山菜は一部、出荷制限を受けているが、生産者が安心して出荷出来るよう支援していく。

山間地域の農地施策は
 問 労働生産性が低い山間部の農地は、台風被害もあり、どう対策を進めていくのか。
 答 担い手や農業委員、農地利用最適化推進委員が各地区の農地維持・管理について協議をしている。今後、区画整備や集約も含めIT技術を使い生産性を上げる。



直売所でのタケノコ販売（令和3年）



早期整備が待ちどおしい町民広場公園

町民広場公園の整備は
 問 町民広場公園の整備方針とスケジュールはどうなっているか。
 答 お年寄りから子どもまでが集い安心して遊べる公園としたい。新川の左岸堤防緊急整備事業と関連させながら、令和5年度の着工を目指す。

男子トイレも洋式へ
 問 LGBT(性的少数者)への配慮やプライバシー保護の観点から、男子トイレも洋式にしてはどうか。
 答 児童生徒に関わることであり、学校とも深く協議を進め、今後の課題としたい。

証 検

新年度予算

予算審査特別委員会

会期中4日間にわたり、町長、副町長、教育長及び担当課長等の出席を求め、令和4年度の予算審査を行いました。質疑の一部を要約してお知らせします。

被災者の住宅取得減免は

問 東日本台風で家屋が被災し、住宅を取得した場合の固定資産税減免は適切に行われているか。

答 被災代替家屋を取得または改築した場合、延べ床面積のうち、被災代替家屋の床面積相当分の税額を4年間2分の1減免する。令和4年度は38件、約80万円の減免を見込んでいる。

ふるさと納税目標額は

問 ふるさと納税寄附金の目標額はいくらか。

答 また、シティプロモーションとはどんな事業か。

答 個人が1億2000万円、企業版ふるさと納税を5000万円とする。納税額を増やすために、復旧・復興の様子や、返礼品ができる工程の動画等を作成して発信する。

答 個人が1億2000万円、企業版ふるさと納税を5000万円とする。納税額を増やすために、復旧・復興の様子や、返礼品ができる工程の動画等を作成して発信する。

ベビーケアの場所は

問 庁舎内で授乳やオムツ交換等のベビーケアができる場所を整備するのか。

答 ホール西側に、広さ1畳程の授乳室を整備する。ベビーベッドや送風機等を備え、快適に利用できる環境を整える。

ドローン活用の推進は

問 農業用ドローン取得費用補助で、事業にどう活かすか。

答 ドローンを用いたスマート農業や空撮等の様々な分野での活用を推進する。無人トラクターなど事業費が大きいものは、国や県の補助事業を周知していく。



災害復旧工事で活躍しているドローン（大張地区）

道路愛護会作業の安全は

問 高齢化が進む道路愛護会の、作業の安全確保対策を指導すべきでないか。

答 生活道路の維持管理と交通安全確保のため、道路

日本語学校はできるのか

問 日本語学校の開設は、どのようにして進めるのか。

答 公立日本語学校の類似例は、北海道東川町と長崎県五島市などがある。

宮城県には民間の同学校が仙台市内だけなので、県は仙台市以外での開設を模索している。

町は令和4年度から設置の調査・検討を進める。

病院の赤字予算大丈夫か

問 丸森病院の収支予算が当初から2億円の赤字であるが、見込みはどうか。

答 過去、当初予算1億4000万円の赤字予算でスタートしたことがある。経費の節減に努め、資金繰りには慎重に対応する。

甲状腺検査はどうする

問 子育て計画にある、原発事故による子どもの甲状腺検査実施はどうするのか。

答 東北大学の専門医の意見とともに、がんセンターにあるがん登録情報の分析結果を待つて判断する。



見通し日当たり悪化、車両接触、障害となっている道路脇の立木



エコーによる甲状腺検査イメージ（出典：エーザイ株式会社）

まちづくりへの要望

所管事務調査、予算審査を通じ、各常任委員会から出された要望事項を取りまとめ、議会として9項目を町長に要望しました。



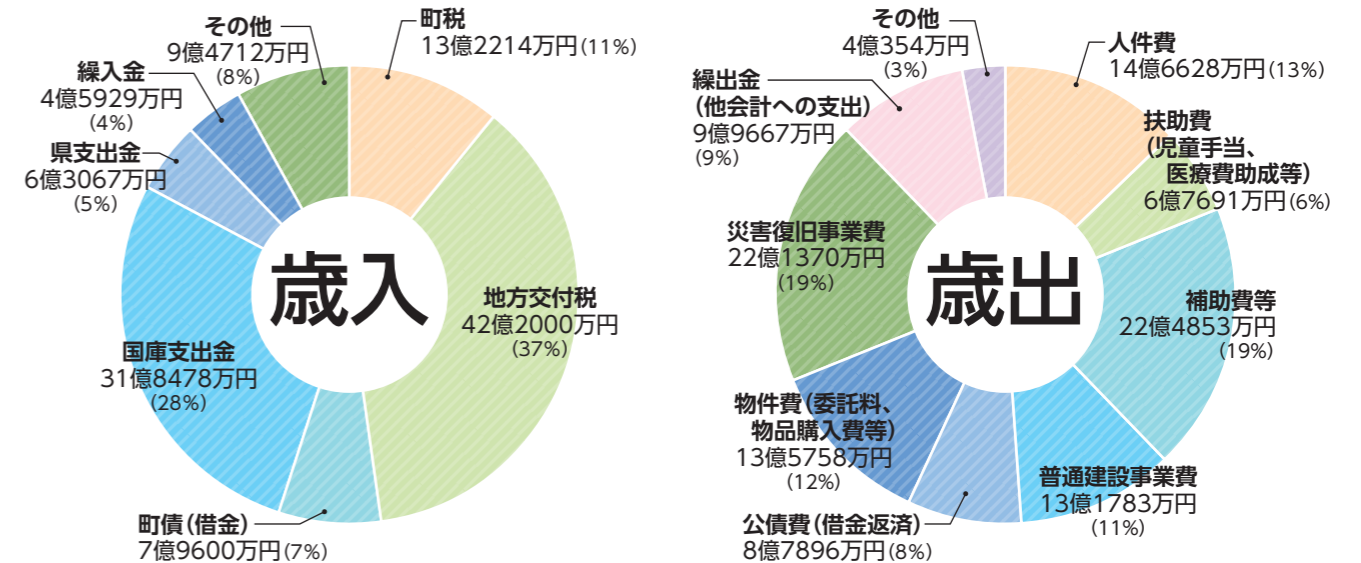
私たち、地域づくりに挑戦します（地域おこし協力隊員）

将来のまちづくりに
今を全力で取り組もう

令和4年度 予算を認定

一般会計予算はこうなりました

歳入歳出予算の総額 115億6000万円



各種会計 当初予算の比較 (支出)

会計名	令和4年度	令和3年度	伸び率
一般会計	115億6000万円	181億1200万円	▲36.2%
特別会計			
国民健康保険	17億3740万円	16億5290万円	5.1%
後期高齢者医療	1億9290万円	1億7320万円	11.4%
介護保険	20億5000万円	20億7090万円	▲1.0%
宅地造成事業	1630万円	1570万円	3.8%
公共下水道事業	19億5430万円	4億6780万円	317.8%
工場団地造成事業	8840万円	30万円	29366.7%
農業集落排水事業	8360万円	8550万円	▲2.2%
小計	61億2290万円	44億6630万円	37.1%
計	176億8290万円	225億7830万円	▲21.7%
病院事業会計			
収益的支出	13億2228万円	12億9183万円	2.4%
資本的支出	1億9601万円	2億307万円	▲3.5%
水道事業会計			
収益的支出	3億9953万円	3億8177万円	4.7%
資本的支出	1億7814万円	1億5871万円	12.2%

※収益的支出とは、人件費や材料費など業務運営に係る支出。
※資本的支出とは、工事費や過去の建設工事のために借り入れたお金の返済など財産に係る支出。

- 柔軟な行政推進を可能とするための自主財源確保は重要である。町税等の賦課徴収に努めること。
- 河川防災ステーションの整備に向けては、観光交流拠点及び周遊拠点等も含め、早期実現できるよう推進すること。
- 移住・定住を町の人口減少対策として位置づけ、町全体での取り組みを積極的に進め、将来人口目標値を達成すること。
- 子育て世代が働きやすく、安心して子どもを産み育てることができる環境整備を積極的に進めること。
- 病院運営は、将来にわたり医師・看護師及び財源の確保を確実なものとし、町民の健康保持に努めること。
- 農林業振興は、次代につなげる後継者の育成と組織の強化・生産基盤づくりが重要である。確実な推進と支援強化で生産性向上を図ること。
- 町が中心となり、指定管理者や関係団体との連携を図りながら、魅力ある観光交流事業を展開し、活力向上につなげること。
- 災害復旧の早期完了に努め、町民経済活動の再生を図ること。また、事業化されなかった被災箇所にも十分配慮し、その復旧に努めること。
- 小学校再編のメリットを高めるため、一人ひとりがのびのびと学べる環境整備を図るとともに、将来の町づくりを担う子どもの育成に努めること。

条例制定

国保税 子どもの均等割額を全額減免

国民健康保険税の18歳までの被保険者にかかる均等割額を全額減免することを定める条例改正です。
 国では子育て世帯の経済的負担を軽減するため、国保税の子ども（未就学児）の均等割額を減額する制度を創設しました。
 更に、町では独自に18歳までの被保険者の均等割額を令和4年度の国保税から全額減免します。
 令和4年度は、人数が217人で103世帯、674万円の減免を見込んでいます。

妊娠・出産祝金を支給

妊娠及び出産に対する祝金を支給することを定める条例です。
 子どもを産み育てようとする妊婦への祝意を表すとともに、子どもの誕生を祝福し、健やかな成長を支援することで、少子化対策に寄与することを目的としています。



おめでとうございます 初めての妊娠祝金支給

- 支給額
- 妊娠祝金 商品券 3万円
- 出産祝金 子1人につき 10万円
- 施行
- 令和4年4月1日
- （妊娠祝金は、令和4年3月31日までに妊娠を届出し、4月1日までに出産をしていない方も対象となります。）

主な補正予算

コロナワクチン接種に 1040万円

コロナワクチン早期接種委託料に974万円、5歳から11歳の小児ワクチン接種に対応するためのシステム改修委託料に66万円の増額を承認しました。

災害公営住宅取得費に 1315万円

令和4年度交付を見込んでいた国の補助金が3年度に交付されたため、住宅取得費に1315万円の増額を承認しました。
 3年度の増額分は、4年度以降の債務負担額※を同額減額するので、住宅建設費の合計は62億6470万円です。
※将来の支出を予め約束する行為



7月に20戸が入居予定の竹谷町営住宅

発議

放射能汚染除染廃棄物仮置場等に関する調査特別委員会の設置

放射能汚染除染廃棄物仮置場等に関する調査を行うため、「放射能汚染除染廃棄物仮置場等に関する調査特別委員会」を議員発議で設置しました。
 特別委員会では、仮置き場町内25か所の早期移設に向け、対応を調査・検討します。

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を強く非難し反対する決議

ウクライナの主権と人々の生命、財産を守るため、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を強く非難し反対の意思を表すため、決議案を議員発議し、原案のとおり採択しました。

プーチン大統領は、侵攻はロシア国民を守る行動であるとしています。国連憲章で全世界が確認した世界平和という共通の理念に背く行為であり、断じて容認できるものではありません。
 世界規範に反したウクライナへの侵攻は断じて許されるものではなく、愚行を猛省し、即刻武力行動をやめて撤退するよう町議会として強く求めます。



全議員で8か所の仮置き場を調査（3月28日）

令和4年度 第1回 議会懇談会開催のお知らせ

議会懇談会は、議会の報告及び町民と議員が意見交換を行う大切な場として開催しています。皆さまの参加をお待ちしています。

新型コロナウイルス感染対策（マスク着用、会場等の消毒、検温など）を行いながら開催します。参加される方は、マスク着用のご協力をお願いします。

（新型コロナウイルス感染症の状況により中止する場合があります。）

日程	日時	場所
5月18日（水）	午後7時～9時	小斎まちづくりセンター
		金山まちづくりセンター
		和田コミュニティセンター
5月19日（木）	午後7時～9時	大張まちづくりセンター
		丸森まちづくりセンター
		大内まちづくりセンター
5月20日（金）	午後7時～9時	館矢間まちづくりセンター
		筆甫まちづくりセンター
		耕野まちづくりセンター



令和元年度 議会懇談会（小斎まちづくりセンター）

第41回 議会広報選考会で入選を受賞

議会だより第257号（令和3年11月1日発行）が、県町村議会議長会の議会広報選考会で「入選」を受賞しました。

今後も議会と町民をつなぐ広報誌として、町民に読まれ親しまれる紙面づくりを目指していきます。



さらに研さんを重ねます

町政を問う

一般質問とは、町に対して事務の執行状況や将来に向けての考えをたずぬるものです。
今回は8人の議員が質問しました。

ページ	議員	質問事項
13	鈴木美智子 議員	● 次の子育て支援は
14	板橋 勇 議員	● 農業振興策について
15	山本 明德 議員	● 子育ての負担軽減を
16	船山 俊一 議員	● 病院の経営強化に向けて
17	宮本 昭雄 議員	● 道路・防災基盤充実を
18	一條 己 議員	● 住民サービス向上策は
19	一條 功 議員	● 宝の山構想の早期実現を
20	金森 裕之 議員	● 新たな人口創出を



次の子育て支援は

町長 町民広場公園を整備する



すずき みちこ
鈴木美智子 議員



QRコード
一般質問動画

子育て支援日本一を掲げる本町の、更なる取り組みを町長に問う。

問① 屋外で子どもと一緒に過ごす町民広場公園の整備は、殆ど活用されないゲートボール場まで拡張してはどうか。

また、子育て中の町民からアイデアをもらい整備すればよりよい公園になるのではないか。

答① 今後予定している新川左岸堤防緊急避難路整備事業等と調整し、町民広場公園を新川左岸堤防まで拡張する。

ゲートボール場の活用も

子育て支援日本一を掲げる本町の、更なる取り組みを町長に問う。

含め、地域の声を聴きながら、魅力ある公園となるよう整備を検討する。

問② 小児科と産婦人科を受診するには遠方まで行かなければならない。

子育て中の町民と、出産を希望する町民の切実な願いである、小児科と産婦人科の誘致に力を注ぐべきではないか。

答② 子育て支援で専門医の確保は重要であり、町村会を通じて、国や県に要望を続けてきた。

しかし、前向きな回答がなく誘致は困難と言わざるを得ないが、医師会等との連携を深め仙南地域の課題として引き続き要望する。

含め、地域の声を聴きながら、魅力ある公園となるよう整備を検討する。

查や開催の呼びかけは、子ども園や学校と連携して、お便りで配布すれば保護者に伝わるのではないか。

答③ 多くの声を町政に活かすよう夜間開催やインター

ネットライブ配信等、工夫を凝らし参加しやすい懇談会の環境確保に努めていく。町内保育施設と小・中学校と連携し情報周知に取り組む。

問③ 子育て世代の意見を町政に活かすための懇談会は、町職員も子どもと一緒にひざを交え、キッズコーナーをつくるなど、参加しやすい話しやすい環境で開催しはどうか。

参加できる日時の意向調



シーソーも楽しいよ。遊具がもっと増えるといいね。(町民広場公園)



あきのり 山本 議員



QRコード
一般質問動画

子育ての負担軽減を

町長 子どもの均等割全額減免

子育て世代の定着と若者移住を促進するには、子育て世帯に係る経済負担を大幅に軽減する施策を打ち出し、子育てするなら丸森でとアピールすることである。次について、町長・教育長の考えを問う。

問① 子育て世代の負担軽減策の現状と今後の施策は何か。

答① 18歳までの医療費無料化と第2子以降の保育料無料化を実施し、負担の軽減を図ってきた。

新たに、妊娠・出産祝金、産後ケア事業等により子育て環境の整備に取り組む。

問② 国民健康保険税では子どもの均等割額も負担する仕組みである。

町独自の制度として18歳までのすべての子どもに対して減免するならば、子育て世代にとって大きな支援となるのではないか。

答② 子育て世帯や多子世帯の均等割額を独自に軽減している市町村もある。

子育て支援日本一を推進していく本町として、令和4年度分から国保税の18歳までの子どもの均等割額の全額減免を実施する。

問③ 子育てや教育費支出に不安や負担感を感じている保護者が多い。

憲法26条では義務教育は無償とするとある。保護者にとっては、教材費、部活動関係費、学校給食費や学用品費など大きな経済的負担である。他自治体に先駆けて学校給食費の無償化や補助に踏み出す考えはないか。



元気に遊ぶ子どもたち（館矢間小学校）

答③ 教育長学校給食センター運営委員会においては、学校給食の無償化の要望は一切出ていない。

り就学援助を行っている。町長衣・食の子どもへの提供は保護者の役割であると考えてるので、学校給食費の無償化については現時点では考えていない。

農業振興策について

町長 現行制度を有効活用

農業従事者は少子高齢化社会の進行と共に全国的に減少の一途である。本町も同様の傾向であり農業振興ビジョンの目標額50億達成は非常に難しいと思うが、町長の考えを問う。

問① 直近5年間の農家総数はどう推移しているか。

答① 平成27年と令和2年を比較すると、1621戸から1174戸となり、447戸が減少した。

問② 町の5年間の新規就農者数は。

答② 新規就農者は19名で、内訳は親元就農が3名、農



いたばし 勇 議員



QRコード
一般質問動画

業法人で雇用される雇用就農が12名、非農家からの新規参入が4名となった。

問③ 町の農業振興を支えるのは認定農業者であるが、その後継者不足に対し、どのような支援をするのか。

答③ 青色申告と収入保険に関する研修会を実施したほか、令和4年度新規事業として就農研修生受け入れを積極的に進めるための事業を行う。また、集落営農を

担い手確保策の柱に据え、重点的に推進する。

問④ 令和4年度に新設される新規就農者育成総合対策について、その内容は。

答④ 農業次世代人材投資事業の後継事業で年間150万円が3年間交付される。

また、親元就農を含めた認定新規就農者を対象に機械・施設、家畜などの導入に対して最大で750万円の支援を行う新メニューが国から示されている。

問⑤ ヤングケアラーについて、県が昨年度実施した実態調査によると県内に157人が確認され、内70人が小学生であった。社会的関心が高まっているが、町内の実態は把握しているか。また、今後の町の対応は。

答⑤ 要保護児童対策協議会で実態把握及び支援に取り組んでいる。令和4年度に設置する子ども家庭総合支援拠点で慎重に対応する。



女性初の繁殖和牛新規就農者（丸森地区）



みやもと しょうお 議員
宮本 昭雄 議員



QRコード
一般質問動画

道路・防災基盤充実を

町長 機能の強化に努める

町の骨格として国道2路線の整備は重要だ。更に防災強化のための拠点施設整備を図るべきと考えるが、町長に問う。

問①現在の国道113号と349号の接続は不便だ。丸森大橋北端部から大張耕野方面に向かう、阿武隈川沿いの道路を整備すれば両国道の公益性・利便性が大いに高まると思う。国や県に強く働きかけてはどうか。

答①国道349号は、館山直洲地内のスーパー付近で国道113号と接続している。

大張耕野方面から相馬方面に向かう場合、丸森橋から町中心部を通り、丸森大橋の南付近で113号に出るのが普通のルートとなっている。丸森橋が狭いことや、大雨増水などで通れなくなる場合があるなど不便な点もあるが、中心部に車を呼び込める効果もあると考える。

提案の整備は有用性があると思うので、今後の町づくりの方向性を見ながら、総合的に検討したい。

町民生活の安全・安心につながると思うがどうか。

答②台風災害時、丸森出張所は床上浸水となり、まるとりふるさと館の2階に事務所機能を移して対応した。

提案の移設は、水防センターの面積的な制約もあり難しいと考える。

冠水などの心配がない水防センターの敷地内に、将来的に消防丸森出張所を移すことを提案する。

機動性も大きく高まり、



阿武隈川沿いを進んで、2国道の接続強化を（館矢間地区）



ふなやま しゅんいち 議員
船山 俊一 議員



QRコード
一般質問動画

病院の経営強化に向けて

町長 抜本的な改革に取り組む

将来に向け、ますます高齢者が増え続けると、必要とされる医療も大きく変わることから、医療ニーズの変化に合わせて、それぞれの病院が持つ医療機能を見直し、病院間の連携強化を図ることが重要になってくる。

また、令和5年度までに、丸森病院経営強化プランを策定し、機能改革等への取り組みを進めることになる。この観点から町長に問う。

問①令和2年4月から、地域包括ケア病床に転換し、患者の在宅復帰等に向けた診療や看護、リハビリなどを行っている。この病床の



効率的な運用が求められる空き病床

導入による経営面での効果はどうか。また、利用率の低い療養病床の稼働率向上への取り組みは何か。

答①地域包括ケア病床への転換に伴う増収額を推計す

ると、約7500万円となり、経営面での効果につながっている。

一方、この病床の導入によって、療養病床の利用率低下という課題が生じたこ

とから、地域医療ニーズに応えつつ経営の安定化を目指すし、療養病床を有効に活用する方策を検討していく。

問②超高齢社会に対応した、医療の未来図を描くことは、町の将来に向け重要である。丸森病院経営強化プランの策定にあたり、今後どのように取り組むのか。

答②安全・安心な医療の提供と保健・医療・福祉の連携により、一体的かつ柔軟に対応する医療体制の充実を図るため、他の病院や介護施設等との密接な連携を推進していきたい。

問③医療と介護連携の観点から、丸森病院に介護老人保健施設を併設して、外国人介護人材等の確保を進め、空き病床を老健の病床として活用し、病院の収入と収益増加を図ってはどうか。

答③現在の介護現場での人材不足を考えれば、外国人の介護人材等も必要である。今後、検討していきたい。



いちじょう 功 議員
一 條



QRコード
一般質問動画

宝の山構想の早期実現を

町長 令和5年度事業化する

問① まるもり宝の山構想（丸森町林業振興ビジョン）策定の方針と進捗状況はどうなっているか。
答① 策定方針のポイントは、1点目は森林資源を活かした林業の産業化で、林業従事者の所得向上と雇用を創出する。

本町には森林が70%と豊富にあり、その利活用や事業のあり方について議会で何度か取り上げてきた。国交付金である森林環境譲与税も活用されず基金積立のままである。以下、まるもり宝の山構想について問う。

2点目は伐る・植える・育てるといふ森林サイクルによる持続可能な森林経営の推進と適切な森林管理による、多面的機能の発揮と災害発生を抑制する。3点目は森と暮らす移住・定住の推進で雇用を創出し、担い手を確保するの3点としている。

答② ビジョンは、林業関係者や住民代表者等で構成する検討委員会を設置し協議する。また、住民意向調査を実施し、さらに、学識アドバ

イザーからの提言を基に令和4年度中にまとめていく。ビジョンで新たに事業化できるものは、令和5年度より、事業を展開する。

丸森の山を宝に



住民サービス向上策は

町長 一層強固な連携を進める

問① 相次ぐ災害により、人口流出や少子化が急激に進んでいる。住民の生活を守る上で丸森町社会福祉協議会の役割はなにか。
答① 町では、専門的ノウハウのある社会福祉協議会に家族介護者交流事業や介護教室事業など様々な事業を委託するほか、社協では認定こども園の運営事業や低所得者の生活安定事業を実施し、住民福祉の増進を目指した取り組みをしている。また、東日本台風の際は災害ボランティアセンターの設置・運営や地域支えあいセンターの開設など大きな貢献があった。



いちじょう 一 條 議員
おさむ 己



QRコード
一般質問動画

社協は地域福祉の中心となる団体であり、今後も様々な課題や、ニーズを踏まえた公益的な取り組みを期待している。町と社協はより一層強固

な連携関係を構築し、おのおの役割を果たしながら、地域福祉の増進に努める。
問② 社協の事業を見ると、41種類の取り組みがある。

様々な事業を行っていくためには、活動しやすく快適な広いスペースの拠点が必要ではないか。
答② 現在の場所は交通の便が良く、利用者や相談者が来所しやすく、町と連携する上でも適した場所にあると考えている。また、現在のところ社協からも事務所移転についての具体的な相談はない。



園芸療法で介護者同士リフレッシュ（家族介護者交流サロン）

問③ 飼料の高騰や輸入乾草の品薄により、畜産農家の経営は大変である。「畜産の町」としての対策は。
答③ 町内の畜産農家は深刻な状況と認識している。国は配合飼料価格高騰を安定させるため異常補填を発動している。町でもコスト軽減のために自給飼料増産の取り組みを進めてきた。今後は構想の段階だが、畜産農家が進めている阿武隈川河川敷での飼料団地整備とコントラクターやTMRセンター設置も検討する。



かなもり ひろゆき 議員
金森 裕之



QRコード
一般質問動画

新たな人口創出を

町長 関係人口を拡大する

本町の大きな課題は、急激な人口減少と少子高齢化である。町は子育て世代への支援や、若者の移住定住に向けた取り組みを進めてきたが、歯止めがかからない状況である。

国は近年、地域経済の活性化を目標に、関係人口創出にも力を入れている。

町も関係人口を拡大し、各地区で活躍する地域おこし協力隊と連携するなど、定住に向けた取り組みについて町長に問う。



まるもりホステルで開催された一眼レフカメラ交流会（筆甫地区）

町内の古民家を利用したゲストハウスやレストラン、空き店舗にはスイーツ店が出店するなど、地域の活性化が期待されている。

今後、更なる増加を目指す

し、受け入れ体制を充実させる、新たな取り組みが必要でないか。

答①ふるさと納税の納税者と関係をより深めるほか、東京圏在住者への移住支援

や、起業チャレンジ応援事業の実施、新たな移住PR動画やパンフレットを作成し、町への関心と関わりを高めていく。

問②各地区で活動している地域おこし協力隊員の令和3年度の実績と、4年度募集員数は。

答②令和3年度は新たに6名を委嘱し26名で、4年度は13名を募集する。

また、3年間の任期終了後も11名が町内に定住し地域の維持、活性化につながっている。

問③令和4年度から各自治組織に配置された集落支援員は、地域の様々な課題解決に向け、重要な役割を担うことになる。

今後の指導・研修はどう行うのか。

答③町から定期的に出向き活動状況や地域課題の共有を図り、勉強会や先進地視察等を実施し、支援員のスキルアップを図っていく。

役場の仕事を

千エツク

2つの常任委員会、所管する課に属する事務に関し、テーマを決めて聞き取りや現地調査を行いました。

総務民生常任委員会

総務課

- ◆河川防災ステーションの整備と利活用に向けた取り組み
- ◆現地調査（河川防災ステーション整備予定地等）

企画財政課

- ◆地域おこし協力隊の活動及び定住状況
- ◆住民自治組織の活性化と魅力ある地域づくりへの取り組み

丸森病院

- ◆地域医療体制の整備推進状況
- ◆在宅医療・介護連携推進事業への取り組み

子育て定住推進課

- ◆新婚・子育て世代など若者の定住促進施策
- ◆現地調査（まるもり移住・定住サポートセンター）

保健福祉課

- ◆子育て世代包括支援センターの取り組み



まるもり移住・定住サポートセンター「じゅーぴたっ」の現地調査

産建教育常任委員会

建設課・災害復旧対策室

- ◆国道349号改良に伴う活用利便性アップの町道整備
- ◆現地調査（町道後沢榎屋線）

農林課

- ◆農業振興ビジョン達成への取り組みや支援策
- ◆有害鳥獣減容化処理施設の有効活用
- ◆現地調査（げんようセンター）

商工観光課

- ◆産業伝承館の利用状況と今後の取り組み
- ◆現地調査（産業伝承館）
- ◆コロナ後を見据えた観光交流人口の増加策

教育委員会学校教育課

- ◆小学校再編のメリット（ふるさと教育や特色ある教育活動）を最大活かす工夫
- ◆小学校再編のデメリットになりえる課題（通学対策や心のケア）の解決



町道後沢榎屋線の現地調査



そば屋再建で まち復興に挑戦

筆甫地区

あ べ た か し
阿部孝司さん

Q 地域おこし協力隊員として移住定住サポートセンターに勤務したきっかけは何ですか。

A 筆甫で生まれ育ち、東京消防庁に就職しました。

いずれは筆甫に帰ることを考えていたところ、地域おこし協力隊員を募集していると知り、土地鑑を活かして移住・定住に貢献したいと思い、定年前の帰郷を決断しました。

Q 令和4年11月に協力隊員の任期が終了しますが、取り組みたい事はありますか。

A 東日本大震災の原発風評被害の影響で閉店した、筆甫のそば屋（清流庵）を再建したいです。

そば打ちが趣味で江戸東京そばの会からマイスターの資格を取得し、今は丸森でそば打ちをしている皆さんと一緒に腕を磨き、令和5年4月の開店を目指しています。

Q どんなそば屋にしたいですか。

A 店名は丸森ソバカフェ清流庵と決め、1階のそば屋は気軽に集い交流できる場所に、2階は移住体験室を考えています。

筆甫の食材を取り入れ、休耕田でそばを栽培し、丸森そばをブランド化して、まちの賑わいに繋がる店にしたいと思っています。

Q 町や議会に要望はありますか。

A 農家と飲食店が一体となった地産地消を推進して、地域経済を盛り上げて欲しいです。

地区の課題や意見を取り入れた、地区民主体のまちづくりに期待します。

御協力ありがとうございました。

（鈴木美智子 副委員長）

次の議会は

6月8日(水) 午前10時

開会予定

- 日程が変更になる場合があります。後日、町議会ホームページで、改めてお知らせします。
- 新型コロナウイルス感染の状況により傍聴を制限する場合があります。



問い合わせ先 議会事務局 ☎0224-72-3038

スマホで議会が見られます

本会議の映像をネットで ライブ中継しています

- 一般質問は過去の録画映像を常に視聴できます。ぜひ議会だよりと一緒にご覧ください。



丸森町議会中継

検索

表紙のことは

この日を待っていたかのよう桜が満開の4月11日、新館矢間小学校の入学式が行われました。

担任の先生と共に入場してきた39人の児童の顔は、晴れやかでワクワク感満載でした。

子どもたちに、小学校でしてみたいことを尋ねると、勉強を頑張る、ダンスをしたい、運動したい、友達をいっぱい作りたい。

保護者の方々は、コロナでできなかった行事ができるのと良い、新一年生みんな仲良くのびのびと楽しい学校生活にしてほしいと話していました。

みんなで応援しましょう。
(二條 己 委員)

議会広報常任委員会

委員長	大槻 正儀
副委員長	鈴木美智子
委員	金森 裕之
	山本 明徳
	船山 俊一
	一 條 己